

環境工学コース ディプロマ・ポリシー

(博士後期課程)

- (I) 環境が関わる課題を始めとする幅広い課題を解決するために、種々の現象を他分野からの視点を含めて多面的に観察・分析・総合・評価し、解決策を立てることができる。
- (II) 課題解決に当たっては、常に環境への負荷を判断しながら的確に行動できる。
- (III) 高度な実験技術を身につけ、技術の改良や融合による新技術の創出に貢献することができる。
- (IV) 修得した知識や思考あるいは情報を適切に発信しながらグローバルに活動でき、リーダーシップを発揮できる高度な能力と倫理観を身につけ、課題の解決に意欲的且つ継続的に取り組むことができる。